

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	10	学校名	大和中央高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	通信制課程の魅力発信及び地域貢献プロジェクト
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	学校設定科目「生活文化の伝承B」や「奈良TIME」で、実習授業として実施。「順慶まつり」を通して歴史的生活文化と地域創生の視点について実学を通して学ぶ。また、学校設定科目「生活文化の伝承A」で、実習授業として実施。「順慶まつり」の戦旗製作を通して、本校通信制課程の魅力の発信と被服に関わる生活文化を実学を通して学ぶ。さらに生徒会行事として実施。全校生徒に参画を呼びかけて、地域との協働を実学を通して学ぶ。
連携・協働相手	順慶顕彰会、順慶まつり実行委員会
地域と共有している目標・課題等	地域創生・地域課題解決の視点育成、通信制課程の魅力発信、「順慶まつり」の来場者増加と活性化、学校と近隣住民との連携機会を創出
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	学校設定科目「生活文化の伝承B」「奈良TIME」で、「順慶まつり」の地域との関わり、歴史を順慶顕彰会の方の講演を通して学習した。さらに、順慶顕彰会の方々から段ボール甲冑の製作の指導をうけ、実際に作成した。また、学校設定科目「生活文化の伝承A」では、生活に必要な被服の染色について学んだ後、「順慶まつり」の時代行列に使用する本校甲冑隊の戦旗を、型染技法（ステンシル）を学習し、実際に作成した。さらに、生徒会行事として、順慶まつり実行委員会と協働で、「順慶まつり」でゴミステーションや模擬店の計画、準備、運営を行う予定で、全校生徒に参加を呼びかけた。しかし「順慶まつり」が中止になり、すべて実施できなかった。

2. 事業の成果と課題

<p>地域の方と連携し、「順慶まつり」の歴史を学び、戦旗を作り、生徒たちが準備を行ってきたが、残念なことに新型コロナウイルス感染症が感染拡大したため、直前で中止になってしまった。しかし、生徒交流会で製作した戦旗など展示し、他の生徒たちに披露することで、「順慶まつり」に対する興味、関心を生徒に高めることができた。また新型コロナウイルス感染症の感染が減少した時期に、「順慶まつり」当日行う予定のスタンプラリーを、顕彰会の方といっしょに実施したことで、地域の歴史・文化を学ぶことができただけでなく、生徒の地域に対する興味・関心を高めることができた。今後の課題は、2年連続「順慶まつり」が中止になり、教員も大きく入れ替わり、生徒、教員双方で「順慶まつり」経験者がほとんどいなくなっているが、地域からの要請に応えられる体制を維持することである。</p>
--

